



こどもの「つぶやき」に耳を傾けて ～AIの時代に生きるこどもたち～

今月のテーマは『こどものつぶやき』です。先日4才児とおしゃべりをしている時に、「エンチャー」というので、「私にも名前があるんだけど…」という、不思議な顔をしている子どもたち。「何て名前？」「あかほしさほっていうんだよ」「エー。子どものときからそんな名前なの？」思わぬ返しに、子どもたちは何を思ったのだろうかと私の方も思いをめぐらせる瞬間でした。

どんどん進化している人工知能AI。子どもたちが大人になるころには、間違いなく共存していると思われる。もはや私たちの経験では語れない未来を子どもたちは生きていくこととなります。そんな時代に必要な力ってなんだろう。

私たちは日頃、大人が先に【知識】を教えたり、伝えたりする保育ではなく、子どもが発見すること、何かに気づくこと、感じることを「ナンデ?」「ドウシテ?」を大切に保育をしていきたいと思っています。子どもたちの体験、時には失敗によって、「なんで?」「どうして?」が繰り返され、また次のことに挑戦していきます。五感のなかで得たその感性は子どもたちを、どんな環境の中でも逞しく生きていく力の土台になるにちがいないと思います。だからこそこの乳幼児期には、知識を教え込むのではなく、子どもの「気づき」を保育の原点にしていき そのためには 子どもたちのつぶやきに耳をかたむけていきたいものです。

♪ おおきなうた ♪

おおきな うただよ あのやまの むこうから
きこえて くるだろう おおきな うただよ
おおきな そらだよ おひさまが わらってる
ほくらを みつめる おおきな そらだよ
おおきな ゆめだよ このほくの このむねに
いっぱい ひろがる おおきな ゆめだよ

行事予定

- 4日(金) さくらお楽しみ会
(今宿野外活動センター)
- 23日(水) 誕生会/職員会議
子育てサークル
- 24日(木) 避難訓練/身体測定

9月30日(土) 午前中
保護者(父ちゃん)学習会



だんだんと暑くなり、食欲も低下する時期となりました。食欲がない時でも保育園の子どもたちはカレーが好きで食べます。保育園のカレーの特徴についてご紹介致します。

★特徴

- ①大豆などの豆類をたくさん使用します。
- ②旬の野菜を入れます。(夏場ならトマト、とうもろこし、ズッキーニなど)
- ③お肉は鶏・豚・牛肉を使い分けています。
(お誕生会の時は、子供たちのリクエストで全て入れる時もあります)
- ④カレールーは市販のものは使用していません。(化学調味料が不使用のものを使用しています。)
夏バテ防止に様々な具材を加えて、ご家庭でも作ってみてはいかがでしょうか。

こどもたちのつぶやきに耳を傾けて

0歳児 たんぽぽ組

「どうぞ」「ありがとう」…「あーん」

保育者に「どうぞ」と玩具をプレゼントしてくれるたんぽぽ組のお友達！
笑顔で「ありがとう」と受け取ると、うれしそうに次々に玩具を「どうぞ」と持ってきてくれます。「どうぞ」とすると、「ありがとう」がもらえるうれしさを感じているようです。おしゃべりはまだできませんが保育士との簡単なやりとりができるようになりました。

1歳児 すみれ組

「テンテー(せんせい)、チョウチョ イタヨ」

お散歩から帰ってきて。保育士のところへ駆け寄ってきて、目キラキラと輝かせて嬉しい気持ちを伝えてきました。
色々なものに興味関心が出てくる1歳児。目に見えた感動を保育士に必死に伝えてくれる姿。こんな一人ひとりの気づきや感動を受け止め、丁寧に関わっていきたいと思いました。

2歳児 れんげ組

園庭にあるおじぎ草。触ると葉っぱが閉じてしまうのが面白くて、れんげ組の子どもたちは大好きです。そんなおじぎ草にもふわふわの花が咲きました。すると「これはなんだ?」「なんでふわふわしてる?」「なんでお花さいたと?」と、たくさんの疑問が生まれてきました。五感を通して世界と関わっていく2歳児は好奇心が止まりません。なぜなぜどうして?そんな思いを受け止め、なんでかな?と一緒に興味をもち、知りたい、伝えたいという気持ちを育てていきたいと思っています!

3歳児 ゆり組

何にでもなりきるのが大好きなゆり組さん。その日は、恐竜に変身!
「え〜んえ〜ん」「どうしちゃったの〜?」「迷子になっちゃったんだって」とお母さん恐竜を探す旅に出かけていました。探している途中で、お茶がこぼれていて、水たまりができていたのを発見!
「これは、どろぼうの足跡だ!」「いや、車の跡だ!」次は探偵になり・・・子どもたちのイメージはどんどん膨らんでいきます。子どもたちのなりきり力の凄さを感じ、これからもっともその力を借りながら楽しんでいきたいと思っています。

4歳児 ひまわり組

A君「セミってなんで抜け殻になると?」
B君「もともと着ている洋服を暑くなったから脱ぐんだよ!もう夏だしね!」

C君「りんごってなんで赤いと?」
D君「ペンキでぬってるからじゃない?」
知りたいこと、疑問に思うことがたくさん!子どもたちの会話を聞いているとくすっと笑えたり、なるほどと思うことも。子どもたちの発想や考えは本当に面白く、何気ない日常の中でのつぶやきを大切に、会話を楽しんでいきたいなと思っています。

5歳児 さくら組

「鬼ごっこしよう」「何鬼?」「氷鬼」「高鬼」「けんけん鬼」
「ねえ、自分ばかりじゃないよ」
「じゃあ、みんなで言っていく?」
「誰から言っていく?」
子ども同士の会話でもうまくいかないうりとりが続くと大人も口出ししてしまいたくなる場面です。相手にも思いがある。自分と異なる考えがある。問題解決までの過程には共通の目的に向かって仲間と話し合い、歩み寄ろうとする姿があります。大人の「待つ」難しさ、子どもの力を「信じる」ことの大切さを日々の遊びの中で感じています。